

日本共産党の綱領、第四条の 1 項目では、「地方政治では、住民が主人公を貫き、住民の利益への奉仕を最優先の課題とする地方自治を確立する。」と、明確に定められています。

日本共産党員は、人から強制されたり世襲して入党したものではありません。多くの党員は、自分たちが困ったときに共産党の人たちに助けられ、今度は「自分が困った人たちを助けよう」との明確な意思を持った人。また、悲惨な戦争に反対し、一貫して、「平和・民主主義社会実現」のために活動する日本共産党の理念に共感した人たちです。だから、困った人たちのために、損得を抜きに活動することができるのです。

日本共産党員たちの活動は、私利私欲にとらわれない、『世のため、人のため、正義のため』の、純粋なものです。